

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立弓削高等学校

学校番号(18)

No. 1

評価実施日		令和7年2月20日(木)	
委員	氏名	所属等	備考
	白石建彦	上島町立弓削中学校校長	
	新居田貴祐	上島町立弓削小学校校長	
	村上律子	株式会社しまの会社代表取締役	学校評議員
	川野麗子	弓削民生児童委員	学校評議員
	田房友典	国立弓削商船高等専門学校副校長	学校評議員
	山本勝幸	上島町教育委員会学校教育課長	学校評議員
	小川俊治	上島町商工会会長	学校評議員
	池本拓也	P T A会長	
	中村佳名子	副P T A会長	
	西倉京子	副P T A会長	
	藤本千幸	副P T A会長	

評価・提言等	提言等に関する改善方策等
<p>1 学習指導</p> <p>(1) 進路選択に応じて類型が分かれており、基礎・基本を徹底するための、丁寧で分かりやすい授業を実践していることが、高い評価に繋がっている。</p> <p>(2) 保護者は、普段生徒から聞く話での評価になっており、生徒と教員で結果に差があるものがあり、教員の自己満足になっていることがあるのではないかと。一番は、生徒の意見が大切であると思う。</p>	<p>生徒一人ひとりの希望に応じた学習指導や進路指導になるよう、少人数制を生かし、個別指導にさらに力を入れる。</p> <p>生徒・保護者・教員の評価のずれがなくなるよう、きめ細やかな指導を徹底する。</p>
<p>2 生徒指導</p> <p>(1) ⑬「挨拶や正しい言葉遣いができるように、適切な指導をしている」において、生徒の評価は高いが、生徒が達成できているかは別問題である。</p> <p>(2) ⑭「生徒同士及び生徒・教師間の豊かな人間関係を育てる取組をしている」において、先生方はみんな優しく、その噂が広がり県外生が増えている。</p>	<p>指導するだけでなく、実践できているかどうか確認を行い、できていなければさらに指導する体制を構築する。</p> <p>優しさだけではなく、時には厳しく指導することで、生徒との信頼関係を築く。</p>

評 価 ・ 提 言 等	提言等に関する改善方策等
<p>(3) 3「弓削高校の生活指導で評価できる項目」において、選択肢2「善悪の判断」や選択肢3「思いやりを育てる指導」の生徒の評価が低いので、新聞やニュースで見聞きするような犯罪が起こらないよう、心を育てる指導で人間形成に努めてもらいたい。</p>	<p>複数回答の項目であるが、全部の選択肢で高い評価が得られるよう、心を育てる指導をしていく。</p>
<p>3 学校運営への提言</p> <p>(1) アンケートの回答数が、保護者が65%ほどで低い。全員から回答してもらわないと、正しい評価ができないのではないか。</p> <p>(2) 全体的にアンケート結果の数値が上がっている。引き続き頑張ってもらいたい。</p>	<p>紙媒体と、オンラインでの回答にしていたが、回収率の高い方法を再考する。</p> <p>なぜ評価が高くなったかも分析して、三者ともさらに高い評価になるように、教職員一丸となって取り組む。</p>
<p>4 その他</p> <p>(1) 施設・設備の整備についての評価が高くなっているが、トイレ等の整備をしないとまた評価が低くなるのではないか。</p> <p>(2) 現在、調理室が使用できないと聞いているが、調理実習など、今後の授業はどのように行うのか。</p>	<p>予算の都合上、少しずつ改善されるような計画となっている。</p> <p>県にすぐに整備してもらおうよう要望はしているが、予算がつくのが再来年度の予定である。整備できるまでは、校外の借用できる場所を実施する。</p>